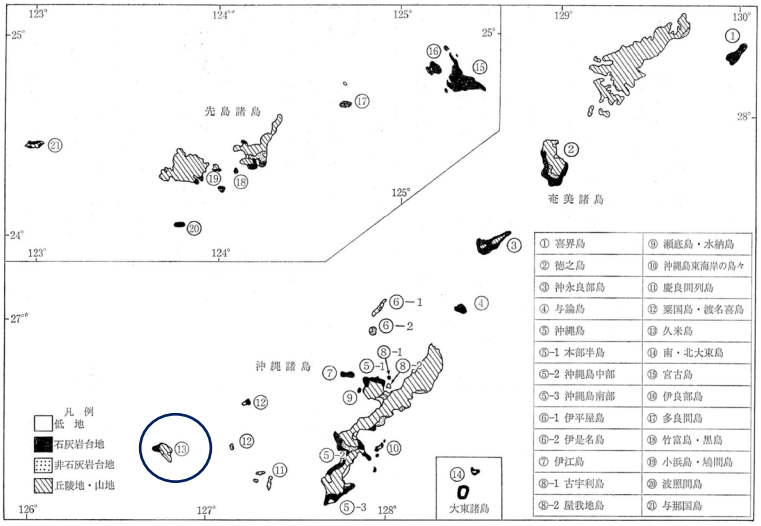
13.久米島



地形・地質

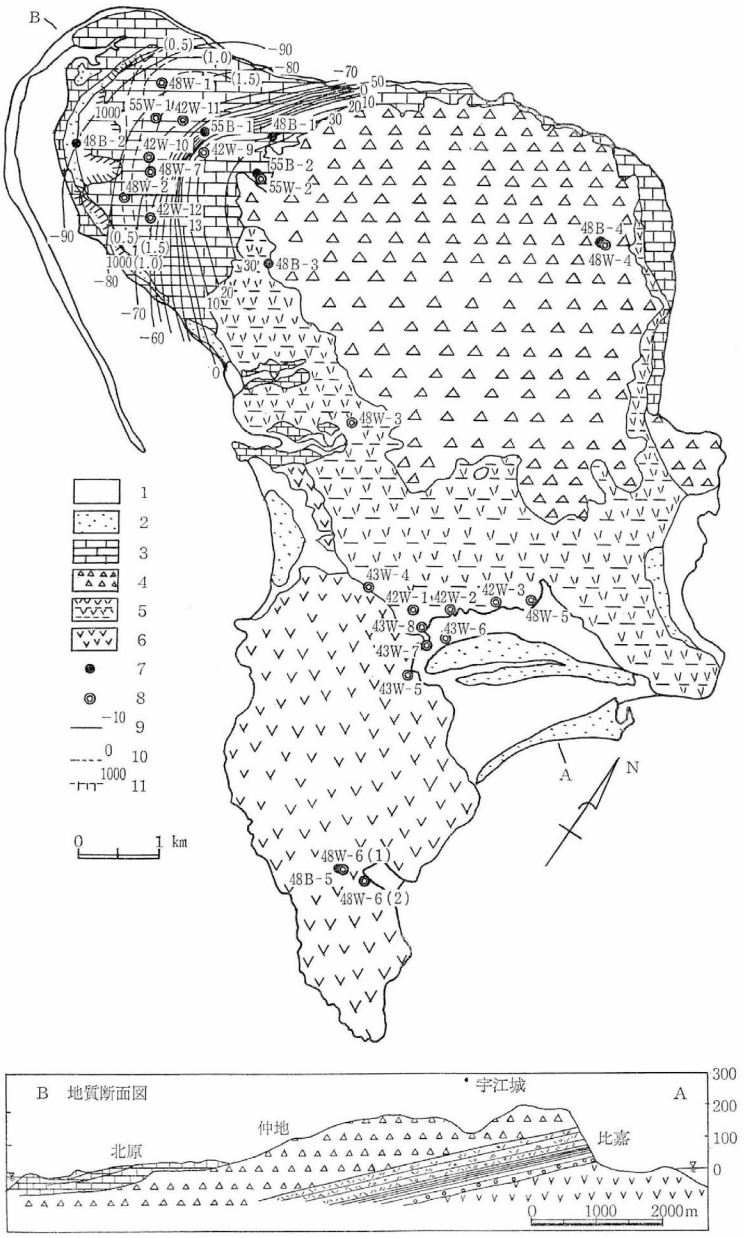
那覇市の西方約 100km に浮かぶ久米島は，面積 58.5km^2 で，その周囲をさんご礁に囲まれています。島は，地形・地質的に 4 つの地域に分けられます。

久米島の水文地質層序表

時代		地層	地質	井戸 番号	位置	標高 (m)	深度 (m)	揚水試験 水位標高 (m)	水位降下量 (m)	揚水量 m^3/d	比湧出量 m^3/d/m	電導度 μσ/cm	地下水の性質
第四紀	完新世	沖積層	シルト，砂，現世さんご礁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不圧水
		砂丘堆積物	新・古砂丘砂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	更新世	琉球層群	さんご礁，砂質石灰岩および砕屑性石灰岩	42W-9	北原	45.0	39	—	—	—	—	—	不圧水
				-10	大原	30.0	41	7.10	10.75	1,440	134	—	
				-11	北原	37.0	45	14.50	20.15	173	9	—	
				-12	大原	25.0	38	4.8	0.62	2,160	3,484	—	
				-13	〃	25.0	38	4.8	—	—	—	—	
				48W-1	北原	20.0	50	0.50	1.83	1,800	900	587	
				-2	大原	12.5	50	0.10	13.54	1,300	96	1,317	
				-7	〃	30.0	41	7.00	4.02	1,000	250	—	
				55W-1	北原	26.4	50	1.02	1.00	270	270	600	
新第三紀	鮮新世	宇江城累層	安山岩，玄武岩，同質凝灰岩	48W-3	上江州	38.0	70	32.07	15.57	480	31	574	裂か水
				48W-4	宇江城	105.0	100	88.24	13.83	800	58	481	
				55W-2	仲地	31.6	50	6.02	8.80	21	2	570	
		阿嘉累層	凝灰質粗粒砂岩，シルト岩および粗粒砂岩の互層	42W-1	山城	36.0	46	15.64	13.08	69	5	437	被圧水～裂か水
				-2	〃	25.0	36	21.00	27.95	48	2	—	
				-3	比嘉	17.4	35	6.10	14.20	75	5	—	
				43W-6	真我里	5.4	32	3.90	—	96	—	—	
				-8	山城	10.0	250	—	—	—	—	—	
				48W-5	〃	5.0	70	0.00	22.83	450	20	—	
	中新世	阿良岳累層	変質安山岩 熔岩，火砕岩	43W-4	山城	17.0	38	14.45	19.10	907	47	—	裂か水
				-5	真我里	6.0	17	3.65	13.65	58	4	—	
				-7	〃	7.5	26	6.0	—	—	—	—	
				48W-6(1)	島尻	15.0	26	10.48	16.93	27	2	400	
				-6(2)	〃	5.0	26	1.98	15.06	44	3	—	

地下水

最も良好な帯水層は西部台地を構成する琉球石灰岩で，宇江城累層やその他の基盤岩中には裂か水と一部に被圧水が賦存します。



1：沖積層（粘土，砂） 2：沖積層（砂丘砂） 3：琉球石灰岩 4：宇江城層（安山岩類） 5：阿嘉累層（凝灰岩，砂岩礫岩互層）
6：阿良岳累層（変質安山岩） 7：ボーリング位置 8：井戸位置 9：琉球石灰岩下限等高線（m） 10：地下水位等高線（m）
11：電気伝導度等値線（$\mu\sigma$/cm）

久米島の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）